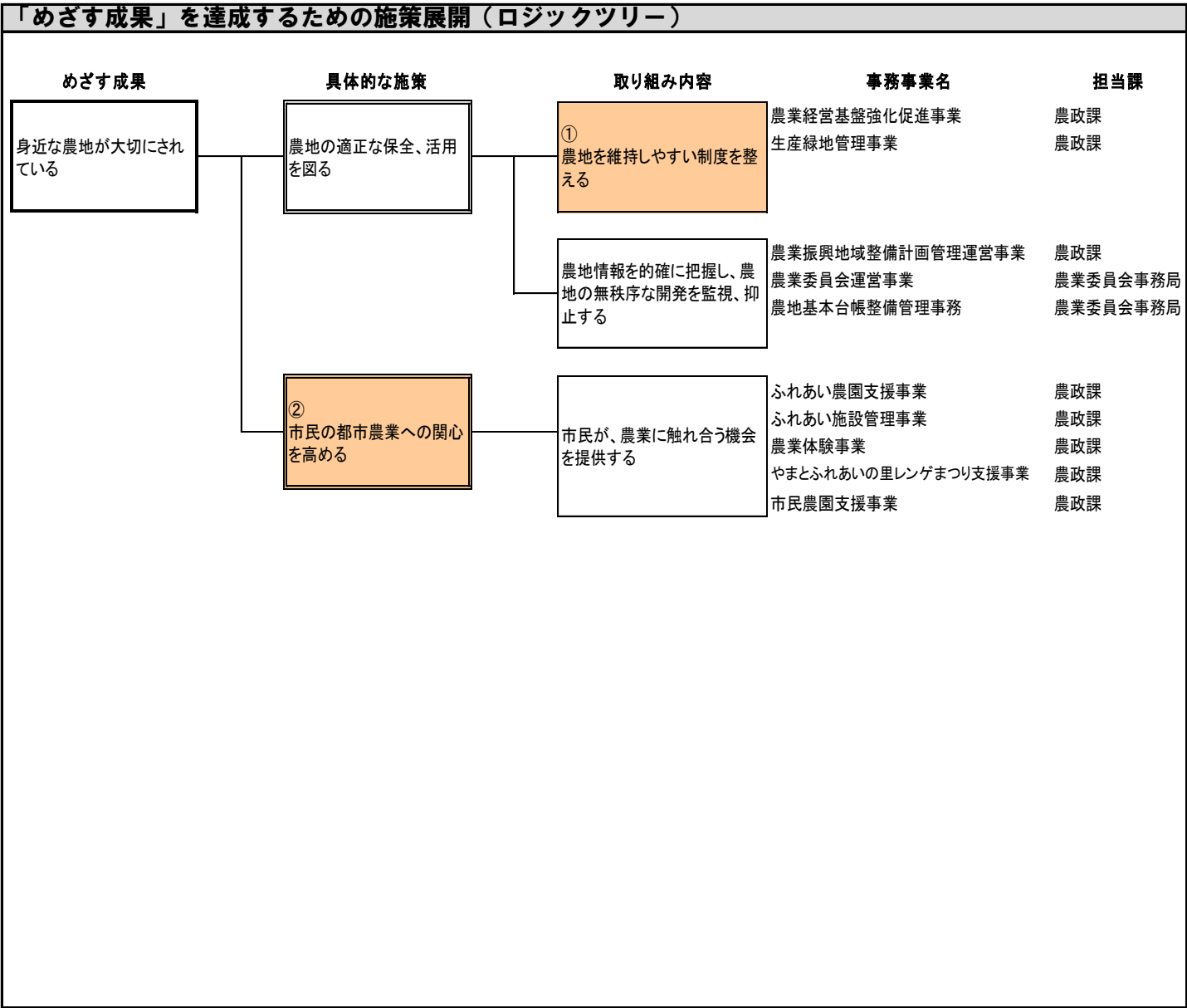


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
4－2－2 身近な農地が大切にされている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	まちの健康・環境を守り育てるまち
	個別目標	まちの緑を豊かにする
	めざす成果	身近な農地が大切にされている
		農地が適正に保全、活用され、都市農業への関心が高まっています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
農用地の利用権設定面積		市民農園応募者数	
計画策定時 現状値	60.2%	計画策定時 現状値	592人
実績値 (H21)		実績値 (H21)	614人
中間目標値 (H23)	69.0%	中間目標値 (H23)	600人
目標値 (H25)	75.0%	目標値 (H25)	600人

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート	
主な取り組み内容	【農地の適正な保全、活用を図る】 ・生産者の高齢化により耕作できなくなった農地を、生産拡大を希望する農家に、期間を設けて貸し出すことで、適正な農地の保全を行いました。 ・市街化地域の農地を守るため、生産緑地に指定することで、農地を維持しやすい環境を作りました。（平成21年12月末現在の指定状況：総面積＝63.7ha 371箇所） 【市民の都市農業への関心を高める】 ・市民が土と緑に親しみ、収穫の喜びを通じて、都市近郊農業の生産と消費に対する理解を深めてもらうため、市民農園事業や農業体験やレンゲまつり支援事業を行いました。

構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）	・都市農業への市民の関心を高めるため、様々な周知活動を行っていきます。 ・市民が農業に親しむ場としての収穫体験について、従来は「収穫」のみの体験であったものを「種まき」、「草取り」、「収穫」と、一連の作業を行う体験方法に変更することで、農業への理解を深めてもらい、農地の保全を図ります。
-----------------------------	---

今後の展開方針		
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充	・市街化調整区域内で、賃貸可能な農地について、経営規模拡大を図りたい農業者への利用集積を推進します。	（該当する事務事業） 農業経営基盤強化促進事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し	・事業継続の必要性はありますが、財政状況により事業費の見直しを行います。	（該当する事務事業） ふれあい農園支援事業

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	* 平成23年度の審議予定となっています。